

2026年6月8日

AGC Biologics 社、帝國製薬社の新規治療薬候補の原薬製造を受託 －新たな治療選択肢の実現に向け、研究開発を支援－

AGC（AGC 株式会社、本社：東京、代表取締役社長：平井良典）のバイオ医薬品 CDMO^{*1} 事業子会社である AGC Biologics, Inc.（本社：米国ワシントン州、以下 AGC Biologics 社）は、帝國製薬株式会社（本社：香川県東かがわ市、代表取締役社長：藤岡実佐子、以下 帝國製薬社）より、腰椎椎間板ヘルニア治療を目的としたタンパク質製剤に関する原薬の開発および製造業務を受託しました。

本契約に基づき、AGC Biologics 社は、帝國製薬社が開発中の「KTP-001」（遺伝子組換えヒトマトリックスメタロプロテアーゼ-7：rhMMP-7^{*2}）について、微生物を用いたプロセス開発および GMP^{*3} 準拠の製造サービスを提供します。

AGC Biologics 社 ハイデルベルグ拠点



AGC Biologics 社 千葉拠点



「KTP-001」は、椎間板内に直接投与することでヘルニアの自然退縮を促進することを目的としたバイオ医薬品で、腰椎椎間板ヘルニアの新たな治療選択肢として期待されています。

本プロジェクトにおいて AGC Biologics 社は、ドイツ ハイデルベルグの拠点にて構築したセルバンク^{*4} を千葉拠点へ技術移管し、臨床試験向けのプロセス開発および GMP 製造を実施します。

AGC グループは、中期経営計画 **AGC plus-2026** において、「Well-being」を製品・技術を通じて創出する社会的価値の一つと位置付けています。今後も日米欧の 3 極で統合された高度な GMP 体制のもと、多様なモダリティに対応したバイオ医薬品 CDMO サービスを展開し、開発初期から商用生産までの一貫した支援を通じてお客様のニーズに応えるとともに、革新的な医薬品の実用化に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

AGC 株式会社 広報・IR 部 [お問い合わせフォーム](#)

〈注釈〉

*1 CDMO (Contract Development and Manufacturing Organization) : 医薬品受託開発・製造機関

*2 rhMMP-7 : ヒト由来の酵素を遺伝子組換え技術により製造したタンパク質の一種。組織の分解・再構築に関わる作用を持つ

【参考】

帝國製薬社関連リリース : [腰椎椎間板ヘルニアの自然退縮を導くタンパク質製剤 KTP-001 \(遺伝子組み換えヒトマトリックスメタロプロテアーゼ 7\) に関するライセンス契約締結のお知らせ](#)

*3 GMP (Good Manufacturing Practice) : 医薬品の品質基準に基づき、原料受入から製造・出荷までの工程全体を管理し、品質と安全性を確保する基準

*4 セルバンク : 医薬品製造に使用する細胞を長期保存し、安定的に供給するための細胞の備蓄システム